
青蘭学園生徒会日誌

蝴蝶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青蘭学園生徒会日誌

【Nコード】

N1431Z

【作者名】

蝴蝶

【あらすじ】

容姿端麗・成績優秀で学園の憧れの的の生徒会長。そして会長が大好きすぎるちよつと変わった生徒会メンバー。そんな彼らの日常を切り取った物語。

1 ページ目 (1)

私立青蘭学園は幼稚舎から大学院まであり、県で1、2を争うほどの偏差値を誇る学園。

普通科や芸能科、はたまた農耕科など学科も多くまさに大衆の憧れの的である。

そして絶大な人気を誇るこの学園の高等部生徒会長、藤月咲夜。ふじつき さくや彼女が大きな溜め息をつくとき隣で作業をしていた黒髪の少年が顔をあげる。

「咲夜。何か悩み事？」

そっけない言葉だが彼女を心配しているのが声音からでも感じ取れる。

彼は生徒会副会長、結城蓮也。ゆづき れんや

彼も咲夜も完璧すぎる程に整った顔立ちをしている。

二人だけでなく生徒会のメンバーは美形揃いなこと有名だ。

「悩み事…ねえ。どうなんだろう。」

「…なにそれ。」

「…蓮也、私の髪の色って変かな？」

咲夜はとても綺麗な銀髪だ。

別に染めているわけでは無いのだがまわりとは違うので結構気にしているらしい。

「蓮也みたいな色がよかった…。」

そういつて髪をいじる咲夜。

少し拗ねた様な表情がとても可愛らしい。

生徒会長として人前にでている時とは大違いだ。

そんな咲夜を見て蓮也は頬を染める。

彼は咲夜のが好きなのだ。

光をつけて輝く美しい銀髪も彼は好いている。

「…っ！駄目だっ！咲夜はそのままのほうがっ…。」

つい大声を出してしまった自分に気づき余計に顔が赤く染まった。

生徒会室にいるのが二人だけでよかったとつくづく思う。

「本当に？」

そう言つて咲夜は首をかしげる。

子供のようで本当に愛らしい。

そんな咲夜をみられるのは生徒会に所属している者だけだ。

声を荒げてしまったことへの羞恥より愛おしいという感覚がおしよせてくる。

「ああ。本当に。」

それを聞いた咲夜はとても嬉しそうに微笑んだ。

彼女が笑うとまわりに華が咲いているかの様な気になる。

今日は生徒会の他のメンバーが来なければいいのに、とさえ思った。

咲夜の髪に触れようと手を伸ばした瞬間。

お約束の展開。

邪魔が入ってしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1431z/>

青蘭学園生徒会日誌

2011年12月5日00時48分発行